

環境経営レポート

(令和5年度)

(令和5年6月～令和6年5月)



株式会社 清建設緑地

目 次

1	事業所の概要	1
2	(令和4年6月～令和5年5月)	2
3	環境経営方針	3
4	実施体制	4
5	環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価	5-1 5-2
6-1	環境経営計画書(事務所)	6-1
6-2	環境経営計画書(現場)	6-2
7	次年度の環境経営計画の内容	7
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	8
9	代表者による全体の評価と見直し記録	9

1.事業所の概要

(1)名称及び代表者名

株式会社 清建設緑地
代表取締役 清 竜治

(2)所在地

本店・本社事務所 徳島市川内町富吉109番地6
資材置場 徳島市川内町富吉109番地6
ホームページ 作成中

(3)設立年月日 昭和47年 4月 1日 川内造園土木設立
平成 1年 6月21日 有限会社 清建設緑地設立
平成18年11月18日 株式会社 清建設緑地に改組

(4)環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 :氏名 山田耕作 TEL 088-665-3514
担当者 :氏名 田浦さつき TEL 088-665-3514

(5)事業内容

土木・造園・下水道・安全施設
建設業許可 徳島県知事許可(特-4)第4422号
土木、とび・土工、舗装、しゅんせつ、石、水道、造園・解体工事業

(6)事業の規模

資本金 50,000,000 円

規 模	単 位	30年度	3年度	4年度	5年度
売上高	百万円	250	192	283	277
従業員	人	15	18	18	19
本社床面積	m ²	91.72	91.72	91.72	91.72
資材置場延べ面積	m ²	315.14	315.14	315.14	315.14

(7)事業年度 毎年 6月～5月

2. 認証・登録範囲

【対象範囲(認証・登録範囲)】

株式会社 清建設緑地

住所: 徳島県徳島市川内町富吉109番地6

(令和5年6月～令和6年5月)

対象事業所 本社、資材置場

事業活動 建設業

土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業、
しゅんせつ工事業、水道施設工事業、造園工事業、解体工事業

3.環境経営方針

株式会社 清建設緑地は、地球環境の保全が人類共通の重要な課題の一つであることを認識し、地域社会構成の一員として、土木工事、造園工事を通じ、社会的責務として全組織をあげて環境負荷の低減に努力します。また、効率的な環境システムを導入し、発展させ、緑豊かな美しいふるさつをつくるため社員一丸となって取り組みます。

環境経営方針

当社は事業活動が与える環境負荷を低減するために、次の方針に基づき、環境経営活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の事業活動に関わる環境影響を常に認識し、積極的に環境への取組と継続的な環境負荷の削減を図ります。

2. 当社の事業活動に関わる環境関連の法令、徳島県条例、徳島市条例、その他を遵守します。

3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②水資源使用量の削減
- ③一般廃棄物の削減及び産業廃棄物のリサイクルの推進
- ④グリーン調達推進
- ⑤環境に配慮した資材の使用
- ⑥地域清掃活動
- ⑦再生資源の積極的利用の推進

4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境経営レポート等で社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、環境経営の継続的改善を推進します。

改訂日 平成 31年 4月 1日

株式会社 清建設緑地

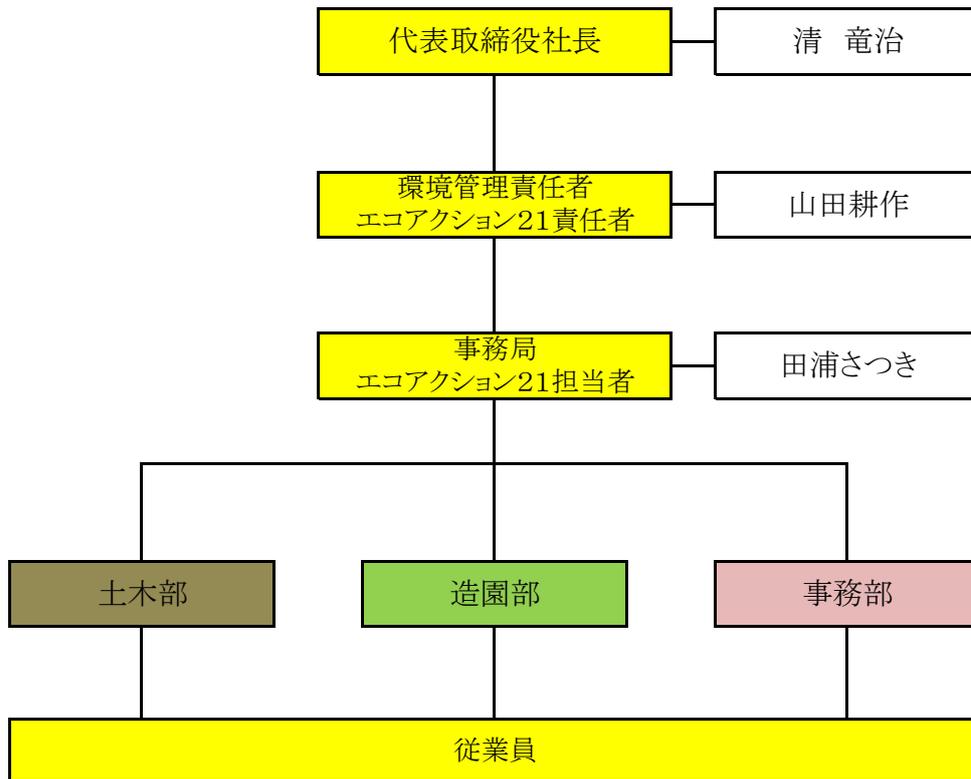
代表取締役 清竜治

4.実施体制

清 建設緑地 環境経営管理組織表

作成日 令和元年4月1日

作成者 山田耕作



代表取締役社長

代表者はエコアクション21の取組を統括する。
環境経営方針の策定・見直し。
資源(人)、もの(設備等)、資金、情報(顧客ニーズ、新技術)を用意する。
代表者による全体の評価と見直し・指示を実施。
環境経営レポートの承認。
各自の役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する。

環境管理責任者
エコアクション21責任者

エコアクション21を推進するに当たり、環境経営目標及び環境経営計画をとりまとめ、従業員への教育と取組状況の確認と評価を行い、環境経営レポートの作成・公表を行う。

事務局
エコアクション21担当者

- 環境への負荷の自己チェックに関する事項
- 環境への取組の自己チェックに関する事項
- 各部へ計画の実施を周知徹底
- 責任者の補助とその他事務的事項

土木・造園・事務
各部長

- 環境経営目標及び環境経営計画に沿ってエコアクション21の取組を実施する。
- 従業員への方針の徹底。
- 各部において環境経営計画の点検と見直しを行う。
- 是正・予防報告書その他環境活動で必要と思われる事項は環境管理責任者に報告する。

従業員

- 環境経営計画を実践する。
- 積極的に研修を受ける。
- 気付いたことは積極的に提案し、環境管理に努める。

5.環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果

作成日：令和6年6月30日
作成者：山田耕作

□環境経営目標 事務所

(電力CO2排出係数0.453使用)

項目	単位	平成30年度 基準 6月～5月	令和4年度 目標 30年度比6.0%減	令和5年度 目標 30年度比7.5%減	令和6年度 目標 30年度比9.0%減
(電力)	kg-CO2	6,741.54	6,337.05	6,235.92	6,134.80
(化石燃料)	kg-CO2	25,138.77	23,630.44	23,253.36	22,876.28
二酸化炭素排出量	kg-CO2	31,880.31	29,967.49	29,489.29	29,011.08
廃棄物					
一般廃棄物	t	0.22	0.21	0.20	0.20
産業廃棄物	t	0.00	0.00	0.00	0.00
水使用量	m ³	288.00	270.72	266.40	262.08
地域清掃活動	回	5	5	5	5
グリーン調達の推進	件	3	3	3	3

※基準年度の変更について、過去10年は、平成20年度を基準にしてきましたが、売上高の差異が大きく、不具合も生じてきましたので、平成30年度を改めて基準年として設定しました。

□環境経営目標 現場

(電力CO2排出係数0.453使用)

項目	単位	平成30年度 基準 6月～5月	令和4年度 目標 30年度比6.0%減	令和5年度 目標 30年度比7.5%減	令和6年度 目標 30年度比9.0%減
(電力)	kg-CO2	1,098.36	1,032.46	1,015.98	999.51
(化石燃料)	kg-CO2	59,025.24	55,483.73	54,598.35	53,712.97
二酸化炭素排出量	kg-CO2	60,123.60	56,516.18	55,614.33	54,712.48
廃棄物					
一般廃棄物	t	10.45	9.82	9.67	9.51
産業廃棄物リサイクル率	%	100.0	100	100	100
水使用量	m ³	4.00	3.76	3.70	3.64
地域清掃活動	回	4	5	5	5
環境に配慮した資材の使用	件	4	4	4	4

※1基準年度の変更について、過去10年は、平成20年度を基準にしてきましたが、売上高の差異が大きく、不具合も生じてきましたので、平成30年度を改めて基準年として設定しました。

※2 化学物質の使用は無しのため、化学物質削減の目標は、ありません。

□環境経営目標とその実績 事務所

(令和5年6月～令和6年5月)

(電力CO2排出係数0.453使用)

項目	単位	目標	係数	修正目標値	実績	達成率(%)
(電力)	kg-CO2	6,235.92	1.11	6,909.40	2,271.34	167.13
(化石燃料)	kg-CO2	23,253.36	1.11	25,764.73	21,125.59	118.01
二酸化炭素排出量	kg-CO2	29,489.29	1.11	32,674.13	23,396.93	128.39
廃棄物						
一般廃棄物	t	0.20	1.11	0.23	0.165	126.82
産業廃棄物	t	0	1.11	0	0	-
水使用量	m ³	266.40	1.11	295.17	142.00	151.89
地域清掃活動	回	5	-	5	5	100.0
グリーン調達の推進	件	3	-	3	3	100.0

*達成率=(1-実績÷修正目標値+1)×100

但しグリーン調達の推進は実績/目標×100

※1 請負額の増減分はその増減分の割合を目標値に掛け合せた数値とする。

係数： 今年度売上高/30年度売上高 277 / 250 = 1.11 単位：百万円

□環境経営目標とその実績 現場 (令和5年6月～令和6年5月) (電力CO2排出係数0.453使用)

項目	単位	目標	係数	修正目標値	実績	達成率 (%)
(電力)	kg-CO2	1,015.98	1.11	1,125.71	2,733.00	-42.78
(化石燃料)	kg-CO2	54,598.35	1.11	60,494.97	61,842.00	97.77
二酸化炭素排出量	kg-CO2	55,614.33	1.11	61,620.68	64,575.00	95.21
廃棄物						
一般廃棄物	t	10.45	1.00	10.45	0.00	200
産業廃棄物リサイクル率	%	100	-	100	100.0	100
水使用量	m ³	3.70	1.11	4.10	0.00	200
地域清掃活動	回	4	-	4	4	100
環境に配慮した資材の使用	件	4	-	4	4	100

*達成率=(1-実績÷修正目標値+1)×100
但しグリーン調達の推進は実績/目標×100

※ 請負額の増減分はその増減分の割合を目標値に掛け合せた数値とする。

係数： 今年度売上高/30年度売上高 277 / 250 = 1.11 単位：百万円

□環境経営目標達成率 事務所、現場 (令和4年度～令和5年度)

項目	単位	事務所 (目標達成率) %				現場 (目標達成率) %			
		平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度達成状況	平成30年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度達成状況
(電力)	kg-CO2	100	115.73	167.13	◎	100	34.80	-42.78	△
(化石燃料)	kg-CO2	100	125.14	118.01	◎	100	103.94	97.77	△
二酸化炭素排出量	kg-CO2	100	123.15	128.39	◎	100	102.68	95.21	△
廃棄物									
一般廃棄物	t	100	0.00	200.00	◎	100	0.00	200	◎
産業廃棄物リサイクル率	%	100	100	100	○	100	100	100	○
水使用量	m ³	100	0.00	151.89	◎	100	0.00	200	◎

*達成率=(1-実績÷修正目標値+1)×100

環境負荷の状況

年度	単位	2018	2022	2023
売上高	円(百万円)	250	283	277
係数	年度売上高/基準年売上高	1.00	1.13	1.11

(事務所)

二酸化炭素排出量	kg-CO2	31,880	26,069	23,397
二酸化炭素排出原単位	kg-CO2/売上高	127.52	92.12	84.47

(現場)

二酸化炭素排出量	kg-CO2	60,123	62,262	64,575
二酸化炭素排出原単位	kg-CO2/売上高	240.49	220.01	233.12

6-1. 環境経営計画書(事務所)

令和5年度

注:達成状況 ◎充分出来ている ○ほぼ出来ている △未だ不十分 ×出来ていない

重要テーマ	具体的項目	担当者	達成状況	評価/指示(環境管理責任者)
【環境経営目標】	<ul style="list-style-type: none"> 燃料使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減 廃棄物の削減及びリサイクルの推進 水資源使用量の削減 地域清掃活動 グリーン調達の推進 	事務局	◎	<ul style="list-style-type: none"> 仕事量は前年度よりわずかながら減少しましたが、マニュアル化された作業が多く、効率的な作業を行うことが出来ました。よって、相対的に使用電力、燃料使用量の減少につながり、CO2の削減目標を十分に達成することができました。 水資源の使用量の削減は、大きく達成することができましたが、職員の削減意識は高く、効果が現れている。
【環境経営計画】	<ul style="list-style-type: none"> エアコンの温度設定 夏場 28℃ 冬場 20℃ エアコンの清掃 2回 不要時の消灯 休憩時の消灯 待機電力の削減 	事務局	○	<ul style="list-style-type: none"> 事務所周りを植栽で囲い込み、事務所内へ直射日光が当たらないよう努め、電力削減ができました。
① 電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 不要なアイドリングストップ運動 急加速・急停車の防止 効率的な移動 	事務局	◎	<ul style="list-style-type: none"> 営業車両を燃費の良い軽自動車を優先的に使用することで一層の削減に努める。
② 燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 石油ストーブの使用を制限した。 	事務局	◎	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー効率の良い電気器具を極力使用したことで少エネになったが、まだまだ削減に向け努力する必要がある。
③ 二酸化炭素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 印刷用紙の削減、ミスコピーの削減 	事務局	△	<ul style="list-style-type: none"> 出来る限り縮小・2画面印刷及び白黒印刷を行った。ミスコピー予防についてはプレビューで確認後印刷を行った。
④ 一般廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> こまめな止水 	事務局	◎	<ul style="list-style-type: none"> 仕事量の増加に伴い水使用量も増加し、相対的に水使用量の削減目標を達成することができました。今後も、より一層のこまめな止水を心掛け、削減に努めます。
⑤ 上水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 洗剤等については、出来るだけ石油系を使わず、自然油脂系等使用 	事務局	○	<ul style="list-style-type: none"> 洗剤については徹底できたが、割り箸についてはコンビニ等でもらっており徹底できなかった。今後、さらなる呼びかけを行う。
⑥ 環境に配慮した資材の使用	<ul style="list-style-type: none"> OURロードアドプト ホランチアサポートプログラム クリーンワーク 	事務局	○	<ul style="list-style-type: none"> 地域清掃活動は、回数にこだわらず、積極的に参加し、地域貢献に努めた。
⑦ 地域清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> 月々の購入物のリストアップを行う。対象品目と金額データを収集する。 	事務局	○	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消を心がけ、地域産品を積極的に使用するようにした。
⑧ グリーン調達の推進				

6-2. 環境経営計画書(現場)

令和5年度

注:達成状況 ◎充分出来ている ○ほぼ出来ている △未だ不十分 ×出来ていない

重要テーマ	具体的項目	担当者	総合評価	評価/指示(環境管理責任者)
【環境経営目標】	<ul style="list-style-type: none"> 電気使用量の削減 燃料使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減 廃棄物の削減及びリサイクルの推進 水資源使用量の削減 地域清掃活動への参加 環境に配慮した資材の使用 	土木部長	○	<ul style="list-style-type: none"> 仕事量は前年度よりわずかながら減少しましたが、マニュアル化された作業が多く、効率的な作業を行うことが出来ました。しかし、作業内容により、使用電力、燃料使用量の増加につながり、CO2の削減目標を達成することが出来ないことがあり、今後削減目標を達成できるよう努力下さい。 但し、水替え作業が発生しましたので、現場使用電力は、極端に増加しました。 廃棄物の削減、水資源、地域清掃等については、現行のまま推進下さい。
【環境経営計画】	<ul style="list-style-type: none"> 現場内での電力使用は主に複数の現場ハウスの設置にあると思われませんが、これも、今年度だけの一時的なものです。 	土木部長	△	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容に24時間の水替え作業あり、一時的に現場使用電力量が増加し、目標達成出来ませんでした。今後は仕事量の増減に関わらず、効率的な作業体制をとることを目標とし、努力します。
① 電力使用量の削減		土木部長	△	
② 燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 掘削機械等の使用に際し、こまめにエンジンのオン・オフを行い、燃料使用の効率を上げる。 	土木部長	△	<ul style="list-style-type: none"> 重機類(バックホー、ブルドーザー等)は、省エネ型のものを使用し、燃料使用の効率化を図る。また、重機類のアイドリングを極力避け、こまめにエンジンを停止させる。
③ 二酸化炭素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 酸素・アセチレンの使用の制限 	土木部長 造園部長	△	<ul style="list-style-type: none"> 現場内での溶接作業等を少なくし、材料購入時に工場内加工を多くする。
④ 一般廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 材料購入時の梱包材に削減に努める。 	土木部長 造園部長	—	<ul style="list-style-type: none"> 材料購入時の梱包材が主な廃棄物である為、梱包材を極力少なくなるよう注文時に依頼する。
⑤ 廃棄物のリサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物については、100%リサイクル業者に処理を委託 	土木部長 造園部長	○	<ul style="list-style-type: none"> 今後も再利用を進めていく。
	<ul style="list-style-type: none"> 剪定材のチップ化を推進し、小規模の造園現場でも、こまめにチップ業者に運搬し、リサイクルに努める。 	造園部長	○	<ul style="list-style-type: none"> 小規模の造園現場でもリサイクルを推進することは、環境にとって、非常に良いことである。
⑥ 水資源使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 無し 	事務局		<ul style="list-style-type: none"> 無し
⑦ 地域清掃活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ゴミゼロ参加 計5回以上の活動をおこなう。 	土木部長 造園部長	○	<ul style="list-style-type: none"> 現場周辺の清掃活動を月に1回程度実施する。
⑧ 環境に配慮した資材の使用	<ul style="list-style-type: none"> 間伐材等県内産品を積極的に使用する。 	土木部長 造園部長	○	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消を心がけ、県内産品を積極的に使用する。

7.次年度の環境経営計画の取組内容

期間：令和 6年 6月 ～ 令和 7年 5月

項目			活動内容	担当者	期限
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○建設車輛のタイヤ空気圧の適正維持を行う		山田耕作	令和7年5月31日
		○建設機械の省エネ運転(ラッシュ時の車両移動の制限)の推進		寺前公一	令和7年5月31日
		○燃料消費の少ない方法を検討し、採用する		寺前公一	令和7年5月31日
		○不具合のある建設機械の使用の禁止		寺前公一	
	電力使用量 削減	○昼休み時間等の消灯の推進		田浦さつき	令和7年5月31日
		○冷暖房機の設定温度の適正維持		田浦さつき	令和7年5月31日
		○本社保屋には、緑のカーテンを設置して、緑化に努める		田浦さつき	令和7年5月31日
	用水使用量削減 (排水量削減)	○社用車の洗車時の節水の推進		山田耕作	令和7年5月31日
		○樹木の灌水時の節水の推進		保宏行	令和7年5月31日
○水道配管からの漏水を定期的に点検する		山田耕作	令和7年5月31日		
廃棄物削減	○在庫数量をこまめに管理し、在庫を増やさない		山田耕作	令和7年5月31日	
	○リサイクルしやすい製品を優先的に使用する		田浦さつき	令和7年5月31日	
	○小規模造園工事で発生する廃棄物でもリサイクルする		保宏行	令和7年5月31日	
グリーン購入	○再生紙の使用の推進		田浦さつき	令和7年5月31日	
	○省エネ適合商品購入の推進		田浦さつき	令和7年5月31日	
環境負荷の少ない工事実施	○環境にやさしい施工方法を検討して、採用する		寺前公一	令和7年5月31日	
	○地産地消地を心掛け、地域産品を積極的に使用する		山田耕作	令和7年5月31日	
地域清掃活動	○河川の一斉清掃		山田耕作	令和7年5月31日	
	○OURロードアプト ボランティアサポートプログラム クリーンウォーク		山田耕作	令和7年5月31日	

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

訂正年月日 令和 6 年 5 月 31日

承認	照査	作成
	山田耕作	田浦さつき

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条	産業廃棄物処理基準、産業廃棄物の委託契約	寺前公一	確認	令和6年5月31日
	第12条の三	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	田浦さつき	確認	令和6年5月31日
	第12条の三 6項	マニフェスト交付状況報告	田浦さつき	確認	令和6年5月31日
建設リサイクル法	第9条 第10条 第16条	分別解体等実施義務 対象建設工事の届出 再資源化等実施義務	保宏行	確認	令和6年5月31日
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	田浦さつき		該当なし
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出	田浦さつき		該当なし
浄化槽法	第10条 第11条	水質定期検査	山田耕作	確認	令和6年5月31日
大気汚染防止法	第18条の15 第18条の18	特定粉じん排出等作業の実施の届出 作業基準の遵守義務	田浦さつき		該当なし
石綿障害予防規則	第5条 第6条	建築物解体等作業届 吹き付けられた石綿等の除去等に係る措置	田浦さつき		該当なし
フロン排出抑制法	第42条 第16条	第一種特定製品の有無について確認、書面により施主に結果を説明 管理者判断基準の遵守	山田耕作	確認	令和6年5月31日
徳島県生活環境保全条例	第2条	公害、生活環境の保全、環境への負荷等環境保全を図ること	山田耕作	確認	令和6年5月31日
徳島市廃棄物の処理及び再利用に対する条例	第1、2、3、4条	廃棄物の発生を抑制し、再利用を促進するとともに、廃棄物を適正に処理すること	山田耕作	確認	令和6年5月31日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和6年5月まで、過去環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情はありませんでした。

9.代表者による全体の評価と見直し記録

(適切性、妥当性、有効性の確認)

代表取締役

清 竜治

作成日： 令和6年6月30日

見直しに必要な情報 (環境管理責任者の報告)		変更の必要性の有無・指示事項 (代表者)																																																									
<p>(取組状況の評価結果)</p> <p>1. 前回までの審査指摘事項の対応</p> <p>今回は新様式の適用の定期検査となります、記述箇所が大幅に変更なり、審査箇所も増加すると思われます。よって十分な内容の精査を行いました。</p> <p>2. 法的要求事項の遵守状況</p> <p>(1)遵守状況に問題はないと判断される。</p> <p>3. 是正及び予防処置の状況</p> <p>特に指摘事項は無かった。</p>		<p>(環境経営方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は受注額は、小幅な減少になりましたが、前年度とは違い、現場では二酸化炭素排出量が未達成となりました。このことを教訓に、従業員全員には、令和4年度、令和5年度を参考に、売上高の変動に関わらず、環境経営目標の未達成率が極力少なくするよう、エコに対する意識の再確認を図ることとしました。 令和5年度の活動結果として、事務所では、温室効果ガスの削減については、ほとんどの項目にたいして、目標達成することが出来ました。これは受注額の変動とは関係なく、作業の簡素化が主な要因であり、それに加え従業員の削減努力が要因だったと思われます。しかし、現場では、受注条件により、未達成となりました。今後受注額の大幅な変動も予想されるなか、EA21の活動をいかに充実したものするか考察する必要があります。 建設現場では受注した工事の内容に支配され、目標を設定することが困難である場合が多々あり、目標達成が困難な場合があると思われれます。今後、建設現場でも、目標設定ができる場合は、その目標に向け、努力したいと思っています。 地産地消を基本にエコ商品の調達または拡大を目指し、より一層のエコ商品の購入を指示しました。 <p>変更の必要性： 有 (無)</p>																																																									
<p>(目標の達成度)</p> <p>令和5年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">環境目標</th> <th colspan="2">事務所</th> <th colspan="2">建設現場</th> </tr> <tr> <th>目標達成率(%)</th> <th>活動計画実施状況</th> <th>目標達成率(%)</th> <th>活動計画実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(電力)</td> <td>167.1</td> <td>◎</td> <td>42.8</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>(化石燃料)</td> <td>118.0</td> <td>◎</td> <td>97.8</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量</td> <td>128.4</td> <td>◎</td> <td>95.2</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物(t/年)</td> <td>126.8</td> <td>◎</td> <td>200.0</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>産廃(リサイクル率)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水使用量(m³/年)</td> <td>151.8</td> <td>◎</td> <td>200.0</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>地域清掃活動(回/年)</td> <td>100.0</td> <td>○</td> <td>100.0</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>グリーン調達(件/年)</td> <td>100.0</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>環境配慮資材使用(件/年)</td> <td>100.0</td> <td>○</td> <td>100.0</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		環境目標	事務所		建設現場		目標達成率(%)	活動計画実施状況	目標達成率(%)	活動計画実施状況	(電力)	167.1	◎	42.8	△	(化石燃料)	118.0	◎	97.8	△	二酸化炭素排出量	128.4	◎	95.2	△	一般廃棄物(t/年)	126.8	◎	200.0	◎	産廃(リサイクル率)	—	—	—	—	水使用量(m ³ /年)	151.8	◎	200.0	◎	地域清掃活動(回/年)	100.0	○	100.0	○	グリーン調達(件/年)	100.0	○	—	—	環境配慮資材使用(件/年)	100.0	○	100.0	○	<p>(目標・環境経営計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 削減目標を毎年1.5%としたのはたいへん困難な目標であり、今後達成できない年度があると思われれますが、努力します。 令和5年度は、事務所では前年度(4年度)と比べ小幅な仕事量の減少となりましたが、環境経営目標を達成することが出来ました。 次年度は今年度と同等程度もしくは以下と予想される為、令和4年度を基準と考え、なお一層事務所においても現場においても無駄の削減を命題とし、環境経営目標達成に取り組んでいきたいと思います。 <p>変更の必要性： 有 (無)</p> <p>(実施体制)</p> <p>事業活動、組織の変更はないので、現状の実施体制で継続する。</p> <p>変更の必要性： 有 (無)</p>			
環境目標	事務所		建設現場																																																								
	目標達成率(%)	活動計画実施状況	目標達成率(%)	活動計画実施状況																																																							
(電力)	167.1	◎	42.8	△																																																							
(化石燃料)	118.0	◎	97.8	△																																																							
二酸化炭素排出量	128.4	◎	95.2	△																																																							
一般廃棄物(t/年)	126.8	◎	200.0	◎																																																							
産廃(リサイクル率)	—	—	—	—																																																							
水使用量(m ³ /年)	151.8	◎	200.0	◎																																																							
地域清掃活動(回/年)	100.0	○	100.0	○																																																							
グリーン調達(件/年)	100.0	○	—	—																																																							
環境配慮資材使用(件/年)	100.0	○	100.0	○																																																							
<p>(周囲の変化状況)</p> <p>1. 環境コミュニケーション(外部、内部)</p> <p>(1)環境に関する外部からのクレーム、要望事項なし。</p> <p>2. 法的要求事項の動向他</p>		<p>(経営システムの各要素)</p> <ul style="list-style-type: none"> トータルコストの削減を命題とし、経営方針を決定し、従業員の環境に対する意識を向上させる。 (中長期に取り組む環境経営方針) テレワークの内容について、内容を分析し、今後の環境経営に生かしたいと思っています。 (短期的に取り組む環境経営目標) 建設会社におけるテレワークの促進をできる限り実行することを目標とします。 <p>変更の必要性： 有 (無)</p>																																																									

当社が対象となる持続可能な開発目標(SDGs)範囲



SDGs No.	項目		当社が対象となる項目
1	貧困をなくそう		
2	飢餓をゼロに		
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	●	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう	○	緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に	○	寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育